

介護アシスタントのみなさんに聞きました

令和6年1月より
障害者支援施設あすなろ園（津山市）
で働いています



安藤さん（66歳）

利用者さんの反応や喜ぶ姿が間近で見られるのでとてもやりがいがあります。

1. 介護アシスタントになったきっかけは？

新聞の求人折込チラシに福祉人材センターの案内が掲載されていて、短時間勤務可能と書いてあったので、体力的に働けそうだと思い応募しました。
長年、介護の仕事をしていて、高齢者施設や居宅ケアマネ業務などに携わっていました。定年退職後、家の片付けをしたり、何か楽しみを見つけ趣味をして過ごそうと思っていました。どうしても時間を持て余していました。
自分のできる範囲で働きたいと思っていたところだったので、私に合った働き口があり、いいご縁をいただいたと思っています。

2. 安藤さんは施設でどのような仕事をしていますか？

作業棟で利用者さんの状態に合わせた日中活動の手助け、塗り絵や陶芸の準備を行っています。
時には利用者さんの話し相手になり、息抜きができるように雑談しながら作業の手助けをしています。
昼食時には食事介助を行っています。

3. 施設で安藤さんはどのような働き方をしていますか？

9時～12時半で週5日働いています。

4. 働き始めて、生活や気持ちに変化はありましたか？

今までずっと仕事をしていたので、退職後は時間の使い方が分からず、やりがいがなく、だらだらと過ごす時間がありました。この仕事を始めてからは、気持ちや生活に張りができました。

5. この仕事のやりがいは？

介護の仕事は直接「ありがとう」をいただける仕事です。
こうしたら喜んでもらえるんじゃないだろうか、と考える時間が楽しいですし、利用者さんの反応や喜ぶ姿が間近で見られるのでとてもやりがいがあります。
自分自身楽しく働くことができているのでありがたいです。
職員の方からは、利用者さんの創作物をご家族に送りたい、季節の飾りの準備をお願いしたいなど、声かけしてくださるので連携しながら仕事をしています。

出勤

～安藤さんの1日の流れ～

退勤



9:00



12:30

日中活動の見守り

作業棟で利用者さんの状態に合わせた作業の手助けや準備を行っています。日中活動には、陶芸や手芸、塗り絵、さをり織りなどがあります。音楽を聴きにくる方、作業棟の雰囲気を楽しむ方、過ごし方はさまざまです。単に作業する場ではなく、皆の輪のなかに入って過ごす場所になっています。

昼食の見守り

11:30頃からは食堂に移動し、昼食の食事介助を行っています。

6.今後の目標は？

仕事をしていると、この時間には家を出るといったタイムスケジュールがあるので規則正しい健康的な生活ができています。健康に留意して少しでも長く働くことができたらなと思います。

7.施設・事業所で働き始めて福祉・介護や施設のことをどのように感じるようになりましたか？

ずっと介護の仕事をしてきて、大変な面もありますが、介護には楽しさやおもしろさがあります。私のように定年退職後に仕事をやりたい方はたくさんいると思います。ただ、時間的な制約や体力、年齢的な問題があって働けない方は多くいます。長年介護の仕事をしてきた方が年齢や体力面で辞めてしまうのはもったいないと思うので、アシスタントという職種がもっと広がればいいなと思います。

安藤さんがきてくださるようになって、多いときは20名の方が作業棟にいらっしゃいます。これまでの経験を活かして、自然な声かけやサポートをしてくださいます。また、安藤さんの人当たりの良さのおかげで、作業棟に足を運ぶ利用者さんが増えました。施設の方針を理解し同じ方向を向いて働いてくださっているのので、安心して作業棟の業務をお任せすることができています。大変助かっています。



施設長
花房さん

▶お問い合わせ先

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 岡山県福祉人材センター
〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ内

☎ : 086-226-2888

